

各 位

セントラル警備保障株式会社

更なる安全・安心の実現に向けた、次世代セキュリティサービスを提供します。

セントラル警備保障株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役執行役員社長：澤本尚志、以下、CSP）は、開発中の「セキュリティプラットフォーム“梯”（以下、梯）」をはじめ、最新技術を集約させた、これまでにないセキュリティサービスを提供します。このサービスは、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二）が開発を進めている「TAKANAWA GATEWAY CITY」をはじめ、大規模開発向けに 2024 年度末以降のサービス開始を予定しています。

◆次世代セキュリティサービス（概要）

開発中の梯を中心に警備ロボット、画像解析システムなどの最新技術を集約した次世代セキュリティサービスを構築します。このサービスは、さまざまなデバイスからセキュリティに関する情報を梯が「統合・分析・解析」し、オペレーションの自動化とエリアマネジメントセキュリティ※1により、警備業務の高度化、効率化、省人化を実現。お客さまメリットの最大化に向け、挑戦していきます。



エリアマネジメントセキュリティ（イメージ）

※1 エリアマネジメントセキュリティは、隣接する複数の警備対象施設を統合。これまでの「各拠点（ビル）の警備」から「エリア（まち）の警備」を実現する新しい警備の考え方です。

◆梯（かけはし）

さまざまな監視（警備）システムを統合・分析・解析。その情報をもとに、オペレーションの自動化とエリアマネジメント化されたセキュリティサービスを実現します。

参考 URL: <https://www.we-are-csp.co.jp/corporate/securityplatform/index.php>



セキュリティプラットフォーム梯（イメージ）

◆警備ロボット「C-SParX（シースパークス）」

ロボティクス・AI・画像解析・ネットワークなど、最新技術を搭載。マッピングされたルートを正確に自律走行し、カメラでとらえた映像をAIによる画像解析で異常を正確にすばやく検知。セキュリティスタッフ・監視センターへ映像とともに異常を知らせます。

参考: <https://www.we-are-csp.co.jp/corporate/csparx/index.php>

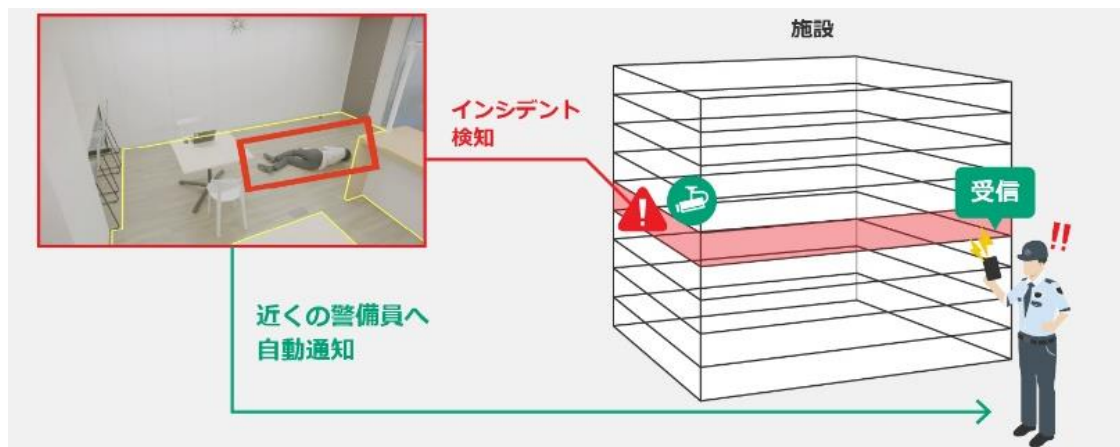


警備ロボットの活用（イメージ）

◆画像解析システム

各エリアに設置されているカメラのリアルタイム映像から、指定した検知項目にもとづいて画像解析システムが高精度に検知します。検知された映像は、即座に監視センターに伝送され、事案の発生を確認した場合は、セキュリティスタッフが現地へ駆けつけ、施設関係者への連絡など迅速かつ適切な対応で被害を最小限に抑えます。

参考: <https://www.we-are-csp.co.jp/corporate/office/camera/index.php>



画像解析システム（イメージ）

◆ウェアラブルカメラ

ウェアラブルカメラを装着したセキュリティスタッフの映像は、遠隔地からも確認・通話ができるため、異常発生現場の状況をリアルタイムに共有することができ、的確な指示や必要な支援をおこなうことができます。また、警備対応以外のさまざまなサービスにおいても、専門知識を持ったスタッフの指示・支援により、専門スタッフ同様のサービスが可能になるなど、セキュリティスタッフの多能化が実現できます。

参考: <https://vimeo.com/731257178?share=copy>



ウェアラブルカメラの活用（イメージ）

◆IC カード入退室管理システム「centrics（セントリックス）」

さまざまな場面で使用されている交通系ICカード。改札を通過し店舗で買い物をして、オフィスに入るまで一枚のカードでの対応が可能です。建物や店舗の規模、用途に合わせてさまざまなカスタマイズも可能です。

参考: <https://www.we-are-csp.co.jp/corporate/office/centrics/index.php>



IC カード入退室管理システム（イメージ）

◆本件に関するお問い合わせ先

セントラル警備保障株式会社

品川・プロジェクト開発部（担当：榎本）

TEL：03-3344-8744（平日：9～18時）